

## 授業改善等に関する報告書（2023 年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
アジア文化論	高橋 美和	<p>各数値はほぼ平均的でした。授業の感想として、東南アジアの文化・社会について理解が深まったと書いてくださった方が非常に多く、励みになりました。一方で、重要点のまとめが欲しいという要望が少数ながらもありました。知識の整理が必要な科目でしたので、それをうながす工夫が必要だったかもしれません。</p>
イノベーション論	篠崎 香織	<p>「イノベーション」という言葉を耳にすることはあっても、学生が自分との関わりで捉えることは少ないという状況を踏まえて、いかに身近なものか、また自分たちが関わり得るものであるかを理解してもらおうかがキーとなる科目です。</p> <p>そのため、教科書をベースにした学びだけでなく、自分たちが考えて行動して、状況を変えていけることを体感するところまでを行いました。私たちが意味を理解すれば、状況に変化を起こせることを忘れないでください。</p>
キャリア・デザイン論	吉田 雅彦	<p>最新のキャリア理論と企業研究の手法について、かなり高度な内容まで踏み込みました。情報量も多かったと思いますが、ほとんどの受講生が理解して自分のキャリアを考えることができました。受講生から授業の狙いを受け止めた以下のようなコメントをいただき、授業の工夫に努力してきたので嬉しいです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>キャリア形成について知ることができた。 例 リアルなキャリアデザインを見ることが出来たことで、将来についてとても参考になりました。 社会人基礎力についての知識が深まった。 キャリアデザインや文系学生の就職活動について知ることができた。また、さまざまな業界の基礎知識を身につけることができた。 キャリアデザインを立てることの大切さを学ぶことができ、自分のキャリアデザインを考える力が身についた</li> <li>キャリアや就職について理解が深まった。 例 文系だからと自分で幅を狭めてしまっていたことに気づき、就活に向けてすべきことを明確にできてよかった。 職種の解説をしてもらえたので、将来の道について現実味が帯びたと同時に、社会に出るといふことの自覚を持つことが出来た。また、人生100年時代という考えから怖がらずに挑戦しようと思うことが出来た。 これからの人生を歩むうえでキャリア形成を行っていくことが重要ということを知ることができ、授業内で何回か自分について考えたことによって自分が何をやりたいのか明確にすることができた。 様々な企業を知ることができた。就職の際に必要な事を理解することができた。</li> </ol> <p>就職の際にためになることを教えていただけで良かった。 どういった職業があるかについて知ることができ、就職に関する考えの幅が広がった。 職業について、偏った知識しか持っていなかったため、今回食魚別にそのような職業なのかを知ることができてよかった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>民間企業の採用・研修担当の方の講義が良かった。 例 外部講師の方のお話を聞いて良かった。 企業の方のお話を聞く回では、キャリアの考え方を知れた。自分のキャリアへの関心が深まった。 外部からの講義が非常に勉強になりました。キャリア形成に自分自身の価値観をどういれるのか勉強になりました。</li> <li>レスポンス、質問への回答が良かった。 例 レスポンスを沢山活用して知識の定着に役立ったと思う。 感想や質問にコメントをいただけるのが嬉しかったです。ありがとうございます。 授業の質問に回答していただけることが良かったです。 掲示板を利用した質問や感想の回答で、他の学生の考えや意見に触れられてとても良かった。</li> </ol>
コミュニケーション概論	高木 裕子	<p>講義概要での内容は、学生の理解度や教室仕様の状況に応じて授業開始後に変更を加えているが、今回は、コロナ禍後の、まだ対面授業に慣れていない、入学間もない者が対象であったため、教える内容そのものを伝達し、理解させるといふよりは、実際に学生が抱えているコミュニケーション上での問題や課題を解決してもらい、まずは文字コミュニケーションでのレポート提出と論理的に考えがまとめられるように配慮した。高校までに受けてきた授業の内容理解とは違う捉え方をするというのも目標であったことが伝わりにくい面もあったかもしれないが、日常生活やその後の大学授業で役立つコミュニケーションとは何かを理解できてもらえればと思う。次年度も状況を踏まえながら、理解が深まる、役に立つコミュニケーションの授業になるよう改善していく。</p>
ソーシャル・デザイン・プロジェクトB	標葉 靖子	<p>履修人数が少なくなってしまう中、最後まで頑張ってくれた履修生は自信を持ってもらって良いと思います。なお授業では、イノベーションや社会的課題解決が求められている分野・現場で実際に活用されているデザイン思考やシステム思考などのフレーム・技法を知り、体験することを重視しました。またアイデアを社会に実装していくにあたって求められる視点についても必ず取り入れるようにしています。自らのアイデアを社会で実現していくためには、段階的により多くのステークホルダーを巻き込んでいく必要があります。本授業で扱った枠組みや考え方はそうした場面で必ず役立つと思いますので、忘れずに日頃から実践していただきたいと思います。</p>

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
マーケティング論	井上 綾野	昨年度のオンデマンドから、対面に戻してよかったですと思います。マーケティング論は基礎となる科目ですので、この内容を踏まえて、応用科目の受講をお願いします。
メディア・コミュニケーション論	標葉 靖子	メディア・コミュニケーションに関して、みなさんの身の回りで起きている現象をメディア論における理論・実証研究で裏打ちされた知識・考え方で読み解けるよう授業を構成しました。オンデマンドの特性を活かし、各回履修学生のミニッツレポートでの質問や疑問、鋭い指摘などを次の回で全員に対してフィードバックすることで、理解が深まるよう工夫をしました。動画もユニットごとに区切るようにしましたが、早口になってしまっているときや音声が届きにくい点、またYouTubeは使用しないで欲しいという意見もあったようですので、気をつけたいと思います。
メディア社会論	駒谷 真美	まず「メディア社会論」がアンケート全項目において、全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価を得て、履修した学生たちの育ちに役立てたこと、心より嬉しく思っている。教員として今後の励みとしたい。 履修生たちは第14回まで真面目にかつ積極的に取り組んでくれた。毎回メディアに関わる重要案件について、responのイントロ・ブレイクアンケートやリフレクションシートを一生懸命に考えて回答してくれていた。特に、アドミュージアム東京の公共広告と、テレビ朝日の災害報道については、ゲストスピーカー講演とフィールドワークとレポートを課題にしたが、いずれもゲストから高い評価を得ていた。 この講義を通して学んだメディア情報リテラシーをSociety5.0で生き抜く糧にしてほしい。
メディア情報リテラシー	駒谷 真美	本講義は、情報社会の根幹を理論的に追究する高難易度の講義内容である。PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングの手法を取り入れて、履修生全員が主体的に参加している。「女性とメディア」について、#MeTooや生理の貧困やルッキズムなどの最新のトピックも履修生の希望に寄り添って取り上げている。 この講義を通して、履修生たちは、メディアからの一方的な情報を鵜呑みにすることなく、次第に自分たちの視点でグループディスカッションとプレゼンを行えるまでになっていた。 履修生が個人とグループ、両方の立場で深慮しながら真摯に取り組む姿が、PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングで促進され、本講義の目的である「クリティカル・シンキングの基盤となるメディア情報リテラシーの育成」に繋がったと考える。 その結果が、授業アンケートでは、成長実感度・意欲向上度・自己評価・満足度・意欲取り組み度すべてに高い数値として表れていた。全体平均と当該区分平均を上回る評価を得たことは、履修生たちの育ちを見れて大変喜ばしい。
リーダーシップ開発B	標葉 靖子	リーダーシップは特別な目立つ人だけが持っているものだという誤解を解き、すべての人が発揮すべき、また発揮できるものであることを体験を通して学んでもらえるようにプロジェクトを組んでいます。自ら動き出さなければ何も得られない局面が多々あるように敢えて設計しているため、なかなか思い通りにいかない部分もあったと思います。しかしながら、そうした経験は必ず次に生かされると思いますので頑張ってください。
リーダーシップ論	谷内 篤博	かなり分かりやすく、ゆっくりとしたスピードで授業を展開したが、それでもわかりにくい、難しいといった評価があり、反省している。内容がかなり高度で専門的であるため、レベルの高い講義内容に終始した点が少々難しかったようである。
ワーク・ライフ・バランス論	山根 純佳	予習復習時間の回答にばらつきがあったので準化できるように工夫したい
英語コミュニケーションⅡA	ライト、アレックス 富倉 教子	皆さん、アンケートにご協力くださりありがとうございました。皆さんからの貴重なご意見は今後の参考にさせていただきます。 今学期、皆さんと一緒に英語を学ぶことができ大変嬉しく思っております。今後も英語の語彙や文法など、よりわかりやすく提示できるよう心掛けていくとともに、ペアワークやグループワークなどを通して、英語や教材の内容についてさらに理解を深め、かつ自分の意見や考えを表現できるよう援助していきたいと思っております。
英語コミュニケーションⅡA	シオティーノ、アン 時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたら嬉しいです。英語のスキルアップを目指して後期も頑張りましょう。
英語コミュニケーションⅡA	阿佐美 敦子 マルチェフ、ミレン・アンゲロフ	必ずしも英語の勉強が好きではない方ばかりではないと思いますが、全体として授業に対して前向きな回答をいただけたことを有り難く受け止めています。特に「この科目をさらに学びたいと思いませんか？」という質問には、「とてもよくあてはまる」「どちらかというあてはまる」の回答を必ず8割になり、これは授業を受けて英語力をもっと伸ばしたい、がんばろうという気持ちを持ったと理解し、とても嬉しく思います。後期はさらに創意工夫を加え、この数字を上げられるよう努めます。

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅡ A	ミラー, ブルース 富倉 教子	Thank you to everyone who took the time to answer the class questionnaire. It was a pleasure to work with you all this past semester, and I hope everyone will continue to work together on supporting each other to help improve your speaking and listening skills in the next semester. In the meantime, enjoy the rest of the summer holidays and see you in September! (: (ミラー)  皆さん、アンケートにご協力くださりありがとうございました。皆さんからの貴重なご意見は今後の参考にさせていただきます。今学期、皆さんと一緒に英語を学ぶことができ大変嬉しく思っております。今後とも、英語に触れ続けて行ってください。皆さんの今後の学業の成功と繁栄をお祈り致します。
英語コミュニケーションⅡ A	阿佐美 敦子 ライト, アレックス	必ずしも英語の勉強が好きではない方ばかりではないと思いますが、全体として授業に対して前向きな回答をいただけたことを有り難く受け止めています。特に「この授業を通して自分の成長を実感できましたか?」という質問には、半数以上の方が「とてもよくあてはまる」と答えてくれ、また「どちらかというとあてはまる」の回答を足すと8割以上になり、これは英語の力が向上した、あるいは向上させたいという気持ちを持ったと理解し、とても嬉しく思います。後期はさらに創意工夫を加え、この数字を上げられるよう努めます。
英語コミュニケーションⅡ A	ミラー, ブルース 内田 里美	Thank you to everyone who took the time to answer the class questionnaire. It was a pleasure to work with you all this past semester, and I hope everyone will continue to work together on supporting each other to help improve your speaking and listening skills in the next semester. In the meantime, enjoy the rest of the summer holidays and see you in September! (: (ミラー)
演習Ⅱ A	谷内 篤博	全体的に満足度が高く、ゼミが順調に展開したものと安堵している。恐らく、これまでのゼミと異なり、レベルもハードさも比較にならないほど大変だったと思いますが、よくぞ頑張りました。自信をもって後期に臨んでください。
演習Ⅱ A	原田 謙	総合評価も4.6点と比較的高評価でした。とくに、レジュメの作成や発表などで「自分の成長」を実感してくれたようです。またディベートも良い経験になったようです。ぜひ学んだ方法を、他の授業でも活かしてください。
演習Ⅱ A	数野 昌三	演習Ⅱ Aでは、レジュメの書き方、プレゼン方法、特に聞く側が興味をもって聞くように話すこと、そしてレポートの書き方について復習しました。そして班分けをし、1名3回ずつのプレゼンを2回のパワポを含め実施し、クラス全員の方でディベートも実施しました。ただし、プレゼンに関してはしっかりと耳を傾け質問することの重要性を一層理解して欲しかったです。後期に実施する専門ゼミ選択に向け、各自選択理由を熟考し、第1希望ゼミに入室できるよう努力を続けていきましょう。
演習Ⅱ A	広井 多鶴子	みなさんとてもよくがんばりましたね。自由記述欄で、プレゼン力が身に付いた、グループワークを通して、協調力やリーダーシップが身に付いた、調べて考える力が身に付いた、といった記述がたくさん書かれていました。とても重要なことです。この調子でがんばってください!
演習Ⅱ A	篠崎 香織	自分たちがどんどん意見を出さないと期限に間に合うように仕事が進まないことをプロジェクトを通して体験できたと思います。そして、意見を言うことが次につながることもよくわかったと思います。その繰り返しですから、自信をもっていきましょう!
演習Ⅱ A	松浦 常夫	皆さん、各回の課題に熱心に取り組んでいただきました。
演習Ⅱ A	井上 綾野	外部コンテストの応募など大変なことも多かったと思いますが、よく頑張っていたように思います。この経験を次の学びに活かしてください。
演習Ⅱ A	蔭 飛鴻	総合評価では全体平均の4.38に対して、この科目は4.55と高くなっておりませんが、平均より低い項目もあります。今後もよい講義をするよう努力したいと思います。ご回答どうもありがとうございました。

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅱ A	駒谷 真美	<p>この講義の前半は、2年次がゼミ選択の時期であるゆえ、ゼミで学びたいことについて、卒論活動の同様のプロセスで、mindmap・文献リスト作成・文献研究・プレゼンを行った。履修生は、個々の興味関心を学術的視点で捉えるようになり、ゼミ選択の契機になっていた。</p> <p>後半は、グループワークでPBLを実施した。大学公認ラジオ番組「渋谷のJJラジオ1」の応援プロジェクトをOODAループの方略で行った。2年生には高度な内容であったが、履修生は積極的に取り組み、2世代の斬新な企画を出していた。履修生たちは、毎週チームで考えた課題を試行錯誤しながら解決し、ブリーフプレゼンで途中経過を発表し、互いにフィードバックし、講義外でもディスカッションを深めて、高め合っていた。</p> <p>その結果が、授業アンケートにおいて、すべての項目、全体や当該区分平均値を大きく上回る高数値として表れていた。全5グループの企画は、着々と実現し（マスコットキャラのポスター制作・インスタの最新動向を踏まえた展開・学食とのコラボ）、8月中旬から9月中旬に「授業紹介」として展示されている。履修生たちのPBLが机上の空論でなく、OODA Loopに基づいて、実践されている。履修生たちの育ちを見れて大変嬉しい。</p>
演習Ⅱ A	高橋 美和	<p>グループワークと発表、正しく引用をした上でのレポート執筆、個人発表と、盛りだくさんな内容でしたが、みなさん、よくがんばりました！メモを見ずに発表することにも成功し、自信になったようで、よかったです。多文化共生系のテーマに興味を持てなかった方もおそろしくいたと思いますが、レポート執筆や発表の「方法や手順」は他分野でも大枠は共通ですので、役立てていただければと思います。</p>
演習Ⅲ A	竹内 美香	<p>2023年度の学修コンテンツも、昨年度の先輩が卒業研究で収集した調査データを使わせてもらって、本当の調査データの解析を体験して頂きました。今年度も演習用の素材データを刷新したので、教員もテキストは一から書き直すなど、コンテンツの見直しを徹底することが出来たと思っています。教員と学生が共に、同時に学び合うためにも、とてもよいことと思っています。内容は、学生さんたちの生活にも親しみの深い日常的な食物の食感オノマトベと、日常の食に対する態度（重視すること）などのアンケートを組み合わせたものです。食は人にとって非常に大切で、生活場面ではおききイベントです。食べ物に対する態度は、食感オノマトベ表現にも反映するはず。人それぞれ。しかし、ある一定のコンセンサスもあるでしょう。それが文化を生んでいるということも。先輩が細心の注意をもって準備して実施した調査データを再解析することで、たくさんの方の事を後輩の皆さんは学ぶことができたはず。もちろん、この前期の主題はもう一つあります。それは、データ解析の基礎的な工程を身に付ける演習という意味です。ゼミですが、情報活用演習の形式で、教員と学生さんと一緒にPC操作の作業をしてみました。データ解析というすとごい感じですが、実務的には基礎部分はさほど難しいことではないことを体験して頂くことができました。統計解析自体は馴れてしまえば難しい事ではありません。さらにさらに大切なことは、データの保存を確実にすることです。これは社会人になってからも、ほぼ一生ついてまわる重要な課題です。元々のデータを死守すること。そして、加工作業の都度作業ファイルを残すこと。覚えて頂けたでしょうか。</p> <p>この演習では、心理・社会調査データの基礎解析処理の際にExcelシートをどのように扱ったらよいか、自分の力で実習し学んで頂くことが出来たはず。今後の卒業研究に必須のテクニックとしての内容ですから、本当に「自分でできる」ようになって頂きたい基本中の基本です。ぜひ時々復習してみてください。</p> <p>演習は、これからが本番です。さらに学びを続けましょう。真摯に誠実に仲間と逢えるゼミの時間を大切にしながら、それぞれの課題に取り組んでください。就活に、卒業研究に、さらに課題が生起して来ますが、さらに学び続けましょう。</p>
演習Ⅲ A	駒谷 真美	<p>全体的に今期のゼミ生は、対面の形式に戻り、個人の卒論活動・グループでのラジオ番組制作活動、ともに主体的かつ積極的に進めている。</p> <p>個々の卒論活動では、自分の卒論テーマについて先行研究や文献にあたり、最終的にオリジナリティに富んだテーマを選定できていた。この試行錯誤のプロセスを体験したことで、今後の卒論や就活活動に際してのレジリエンスにつながってくれるだろう。</p> <p>グループとして大学公認ラジオ番組「渋谷のJJラジオ1部」の活動においては、月毎の担当グループが、メインパーソナリティとして、工夫しながらベストを尽くしている。メディアゼミの一員として、番組公式インスタの多角的な展開やJJ Timesの執筆など更なる高みを目指して奮闘している。</p>
演習Ⅲ A	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。</p>
演習Ⅲ A	高木 裕子	<p>専門書の読解から始まり、それに関連する研究分野の話へと、テーマとしての「学ぶ」と「学び方」を中心に進めた授業でしたが、多くの議論ができただけでなく、アイディアも出して頂けた授業でしたので、とてもよかったです。これからは建設的な授業内容になるように努力して頂ければと思います。</p>
演習Ⅲ A	蔦 飛鴻	<p>総合評価では全体平均の4.38に対して、この科目は4.67と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。</p>
演習Ⅲ A	井上 綾野	<p>外部との交流が多く、大変なことも多かったと思いますが、刺激を受けて大きく成長したように思います。この学びを次に活かしてください。</p>

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅲ A	角本 伸晃	「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」について4.67、「13. この科目（系・分野）をさらに学びたいと思われましたか？」についても4.67と高い評価をもらいました。これは行動経済学のテキストを輪読し、産学連携や自学連携を行ったので、理論と実践をバランスよく行った結果と思います。
演習Ⅲ A	広井 多鶴子	自己評価が高く、成長実感が高くて、とても良かったと思います。後期もこの調子でがんばってください。
演習Ⅲ A	竹内 光悦	おつかれさま。前期もみなさんは頑張りましたね。後期も引き続き、頑張りましょう。
演習Ⅲ A	篠崎 香織	演習Ⅲの前半は基礎固めの時期なので、輪読、グループワーク、復習課題を通して身についたものが少なくなっただろうと思います。これらは後期の学びで生きてきます。引き続き積極的に発言するとともに行動してください。
演習Ⅲ A	時田 朋子	専門ゼミとなり、発言も求められて大変だったかもしれませんが、4月に比べて大きく成長しました。後期はプロジェクトを実施します。楽しく頑張りましょう。
演習Ⅲ A	標葉 靖子	ゼミのなかで柔軟に対応していければと思いますので、意見・要望があればいつでも遠慮なく申し出てください。
演習Ⅲ A	原田 謙	前期はフィールド分析、PBLの企画準備など、よく頑張りました。後期は夏休みの調査内容を発展させて、ゼミ論文を仕上げましょう。
演習Ⅲ A	松浦 常夫	欠席が少なく、熱心に取り組んでいただきました。
演習Ⅲ A	神山 静香	教員からの指示が十分ではなかったため、回答数が少ない点は今年度の反省点です。回答については、ほぼすべての項目で「とてもよくあてはまる」との回答をいただきありがとうございます。ゼミの内容への理解度及び興味や関心度を高めるための工夫を常に行っていきたいと思います。
演習Ⅲ A	高橋 美和	昨年度高橋が不在で全て休講であったため、今年度初めて文化人類学を学ぶ方がほとんどですが、積極的に取り組んでいただき、だいぶ理解が進んだように思います。校外学習も手ごたえがあったようで、準備したかがありました。この調子で、ゼミ内での協働や討論をさらに充実させていってほしいです。
演習Ⅲ A	阿佐美 敦子	数ある人社のゼミの中から「異文化コミュニケーション」ゼミを選んでくださった皆さんに、「選んで良かった」「ゼミで良い仲間に出会えた」と感じていただけたよう日々、努めています。結果として、全体的に授業に対して前向きな回答をいただいたことを有り難く受け止めています。特に総合的満足度を尋ねる質問には、「とてもよくあてはまる」に全員が回答してくれ、とても嬉しく思います。また、この科目（系・分野）をさらに学びたいかという問いにも全員が「とてもよくあてはまる」と答えてくれました。同様に、自分自身が意欲的に授業に取り組んだと答えた方も全員であり、後期はさらに創意工夫を加え、この数字を維持できるよう頑張ります。まずは9月のタイ交流の成功に向けて、皆さんの力を集結しましょう。
演習Ⅲ A	谷内 篤博	全体的に満足度が高く、難しいゼミですが、よく理解しついてきてくれたと安堵している。後期はさらに一段レベルが上がるので、頑張ってください。
演習Ⅲ A	栗津 俊二	全項目（学生自身の自己採点除く）の平均値が4.0程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅲ A	数野 昌三	法律が少しずつ身近に感じられるようになってきたことと思います。そして理解をより深めるためには、事前学修・事後学修を欠かさず行うことです。 なお、本アンケートの中にグループワークも行いたいとの意見もありましたので、今後相談しましょう。 それでは後期、笑顔で再会しましょう！
演習Ⅲ A	山根 純佳	予習時間の回答にばらつきがあったので、平準化できるように工夫したい
演習Ⅲ A	吉田 雅彦	「みんなと仲良くなれた」 「時事ニュースをよく見るようになった。就活のモチベーションが上がった。」 というコメントをいただきました。 仲良く学んでいきましょう。
演習Ⅳ A	数野 昌三	8/4実施の卒業論文中間発表会では、皆さんお疲れさまでした。当日、アクシデントはありましたが、ゼミ長のとっさの判断と協力で難を逃れました。現在は、卒業論文作成へのスタート台に立ったところです。今後は、個別指導になりますが、各自のテーマに沿い、判例、学説、比較法を交え、なぜそのように考えるのかをしっかりと検討していきましょう。なお、要望のあった点に関しては今後注意します。
演習Ⅳ A	竹内 光悦	おつかれさま。回答者が少ないため、何ともですが、後期も頑張りましょう。
演習Ⅳ A	時田 朋子	後期は卒論を書き上げます。引き続きがんばりましょう！
演習Ⅳ A	駒谷 真美	今回は回答者がいなかったため、フィードバックは差し控える。 4年前期は就活時期であり、今年の4年生は丁寧に準備をしてきて、果敢に挑戦し、前期は正念場であったためと推察する。幸いゼミ生全員が希望を叶えることができている。
演習Ⅳ A	井上 綾野	卒論の執筆に一生懸命取り組んでいた姿が印象的でした。後期、卒論を完成させられるように頑張りましょう。
演習Ⅳ A	竹内 美香	演習Ⅳは実際のところ春先から、卒論のための調査を電子回答収集のできるGoogle Formでの設計を開始していたので、期間中は専ら「前期中に調査実施」というタイトなスケジュール実現に専心したハードな進行と全員で闘いました。学生・教員間の個別の指導と工程管理も、一人一人の高い自覚と意識に支えられて、大きな事故もなく、進めることができました。教員は安堵しています。 収集したデータを破壊しないように保存・管理して解析の作業を進めて頂きたい、お願いいたします。 スケジュール・工程管理は社会人になってからも重要な課題ですから、今期、それを習得した点を誇ってください。回答協力してくれた後輩さんたちに対する感謝も忘れないようにしましょう。感謝して丁寧に解析して卒論を書いて頂きたいものです。GoogleFormsが作れるようになりました。これもあなたが誇れることです。 さらに努力を積み重ねてゼミ生全員で幸せになりましょう。一緒に頑張りましょう。
演習Ⅳ A	高橋 美和	回答数が少ないため、コメントが難しいです。卒業研究の指導自体は受け入れられていると感じています。前期は就活もあり、学生が多忙でしたから、後期の演習ⅣBで授業に集中して取り組んでいただければ、と思います。
演習Ⅳ A	蔭 飛鴻	総合評価では全体平均の4.38に対して、この科目は5.00と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。
演習Ⅳ A	粟津 俊二	全項目の平均値が4.0程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。
演習Ⅳ A	松浦 常夫	後期もがんばりましょう。
演習Ⅳ A	広井 多鶴子	前期、みなさんとともにがんばったと思います。 成長実感が持てたことが何よりです。 後期もこの調子でがんばってください！！

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅳ A	阿佐美 敦子	前期はほとんどの方が就活に追われ、日々、苦勞されたと思います。そのような中、自分の興味のあるテーマを選択し、資料収集等の作業にも時間を割いてきたと思います。全体として授業に対して前向きな回答をいただいたことを有り難く受け止めています。特に総合的満足度を尋ねる質問には、「とてもよくあてはまる」また「どちらかというとはまる」の回答を足すと8割以上になり、同様に自分自身が意欲的に授業に取り組んだと答えた方も8割を超え、後期はいよいよ卒論の執筆に着手する段階であり、皆さんが創意工夫し、全員が良い卒論を仕上げられるようお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！
演習Ⅳ A	原田 謙	就活と並行して卒論準備も、皆さん良く頑張りました。卒論の調査なども夏休みに進めてください。
演習Ⅳ A	高木 裕子	卒業論文作成に向けた構想（案）や実際の研究方法、内容構成に関わるものが多かったですが、段階を踏んで、書き上げていけるまでに持っていくのがこれからですので、しっかり仕上げていってください。
演習Ⅳ A	神山 静香	全ての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。また、有難いコメントもいただきました。「授業を通じた成長が実感できたか」との質問項目で肯定的な回答が多く、大変嬉しく思いました。一人ひとりとコミュニケーションを十分にとり、ニーズを把握しながら、各自の目標の達成をサポートしていきたいと思います。理解度を高めるための工夫も引き続き、行っていきたいと思っています。
演習Ⅳ A	標葉 靖子	卒論の個別指導含め、普段のゼミのなかで適宜フィードバックしています。
演習Ⅳ A	吉田 雅彦	卒論に向けてがんばっていきましょう。
演習Ⅳ A	谷内 篤博	全体的に満足度が高く、卒論指導が順調にしていると思う。後期は卒論完成に向けゼミの質をさらに高めていきたいと思う。
演習Ⅳ A	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
演習Ⅳ A	山根 純佳	予習復習時間にばらつきがあったので平準化できるようにしたい
演習Ⅳ A	篠崎 香織	4年生のゼミは、個々の意識で進み具合が異なってきます。そのため個人ベースで話を聞く時間を確保しているので、ぜひ事前に調べたり、まとめたものを持ってきて、個別指導の時間を有効に活用してください。
演習Ⅳ A	角本 伸晃	アンケートの回答者が0人のため、コメントできませんでした。後期は必ず回答するように伝えます。
家族社会学	広井 多鶴子	この授業を通じて、成長が実感できたという答えが多く、私もとても嬉しく思いました。
会計学総論 I	蔦 飛鴻	総合評価では全体平均の4.38に対して、この科目は4.57と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。
学習・言語心理学	間野 陽子	学習・言語心理学では、語彙、読み書きの発達、単語認知、文や文章の理解、言語に関連する脳領域、言語心理学の応用などについて学びました。言語は、他者とのコミュニケーションや、社会の中で生きる上で重要な認知機能です。みなさんのコメントでも、身近に感じて興味深かったとコメントされた学生さんがとても多かったです。学習・言語心理学での学びは、自分なりの考えを持って、表現することに役立ちます。仕事やプライベートにおいて、みなさんが学んだ知識を活用されることを楽しみにしています。

[2023 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
観光事業論	角本 伸晃	<p>「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」について4.60と高い評価となりました。昨年は4.24で当該区分平均4.37よりも低かったので、より満足してもらえるように工夫した甲斐がありました。来年も引き続き、興味のわくよう講義を心がけたいと思います。</p>
経営分析論	蔣 飛鴻	<p>総合評価では全体平均の4.38に対して、この科目は5.00と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。</p>
企業戦略論	吉田 雅彦	<p>企業戦略のベストセラーで、社会人が読む本を教科書に採り上げて、分厚い経営学の本を読むことに挑戦してもらいました。学生には難しく、本を読むペースは人によって違うので、オンデマンドのメリットが活かされた授業でもありました。</p> <p>受講生からは、授業を評価するコメント、改善を求めるコメントをいただきました。</p> <p>1. 改善を求めるコメント          Q: 授業使用の音声が聞こえない時が多かったので改善していただきたいです。          A: PPT資料をWord資料に埋め込んだために、manabaとPC/スマホの相性が悪いと、PPTの音声が聞こえないケースがあったようです。途中からPPT資料をmanabaに単体でアップしました。</p> <p>Q: 教科書がなかなか手元に来るのが遅く出遅れてしまいいくつか課題が出せていなかったが、後半はよくできたと思う。          A: 教科書の入手状況を確認し、課題の期限を必要があれば延長するようにします。</p> <p>Q: 最初の授業資料のページ番号と小テストの番号が違った。          A: 確認して違わないようにします。</p> <p>Q: 文章で答えるところの答えで毎回例文を出してほしい。          A: 良い例を掲示板で紹介するようにします。</p> <p>Q: ここまで難しい本よりももう少し読みやすい本にしてほしかった。一回の授業で扱うページ数が多すぎる。難しかった。          A: 確かに簡単な本ではありませんが、多くの受講性は理解して学んでいます。理解できるようにアシストは工夫していきますが、レベルを落とすことは考えていません。</p> <p>2. 授業を評価するコメント          (1) 企業戦略の教科書が良い内容だった。          例 企業戦略についての本を実際に読むことで理解が深まった。企業戦略をストーリーとして捉えることで分かりやすく理解できた。企業戦略については何も分からなかったが、色々な企業の戦略を学ぶことができ、企業成長するにはどのようなことが必要なか理解を深めることができた。          企業が売上げ向上のためにどのような戦略を立てているのか学ぶことが出来た。          なかなかビジネスの本を読む機会はないので、授業を受けて良かった。全く知らなかった企業戦略について知識を深めることができた。          教科書の内容がとても読みやすくわかりやすかったです。          本の内容が面白かったです          教科書を通じてさまざまな企業の長期的な戦略ストーリーを学ぶことができ、とても面白かったです。</p> <p>(2) 教科書の理解を助ける教材や回答が良かった。          例 会社の戦略について分かりやすく説明してもらっていたので、より理解を深めることができました。          ワードでの解説が付いていて分かりやすかった。          掲示板でほかの受講生の感想や学びから新たな気づきがたくさんあり、良かったです。ありがとうございます。          この授業では、教科書を元に毎週小テストを解いていたため本の中から正解を自分の力で探し出すこと、そしてそこから自分が何を学んだかについて述べるが多かったため本を読み、自分自身でそこから大事なことを見つけ出す力が身につきました。          掲示板にて質問を答えて下さったので、授業で分からないことがなくなったのが良かった。          毎回、分からなかったことを聞ける機会があり、早く質問に答えてくれるので疑問をすぐに解決できるのが良かった。          掲示板を利用した質問の回答が、授業内容を理解する助けとなっていて良かった。          他の人の質問をみれるところがよかったです</p> <p>(3) 企業戦略以外のことも学べた。          例 社会における企業の生存競争の厳しさを理解できた。          企業戦略論を通して、社会人になってから社会や企業に自分が貢献していく方法について考えられた。</p>

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
経済学概論	吉田 雅彦	<p>かなり高度な内容まで踏み込みましたが、ほとんどの受講生がマスターできました。立派でした。 受講生から以下のようなコメントを多数いただきました。授業に工夫をこらしてきたので、評価されてうれしいです。</p> <p>1. 経済学に興味はなかったけれども、授業で経済や社会の仕組みを知れた。 例 経済に興味がない所からのスタートだったが大変のしく社会の仕組みを考えることができた。 ビジネスにおけるニュースについて父と話すことができた。 弾力性や非弾力性について考えたときに実際に日常で見ているものを自分自身で考えたことで日本の経済学の現状を身近に感じることができました。そして身近に感じるができるようになったことで経済学で学んだことを日常生活の買い物をしているときなどに見つけることができ、実際に見ることで理解を深めることができました。 経済学は数学ほいとところがあると勝手に苦手意識をもっていたが、思ったよりも楽しく授業を受けることが出来た。 経済学は自分に関係ないと思っていましたが、日常生活で使われているものであり、社会にでも一生使われるものだと感じました。マクロ経済学の用語についても定期的に見直して覚えたいと考えています。</p> <p>2. 民間企業の採用・研修担当の方に「社会人が経済学を知る必要」を講義いただいた、ためになった。 例 経済学の用語の知識を身につけることができた。また、外部講師の方の講義を受け、キャリアについても考える機会があった。 外部講師を呼ぶなど、より深く学ぶことができ、現社に行き、もっと学びたいと思うことができた。とても良い講義だった。 必修で取りましたが、すごく興味湧きました。先生の講義はもちろん外部講師の方からのお話が将来について考えるいいきっかけになりました。社会に出る就職活動には不安が多くありますが経済学の大切さを知ることが出来ました。ありがとうございました。 パーソルグループの方のお話を聞いたのが参考になりました。 来年度も外部講師の授業があると楽しんで取り組めると思います。 経済の知識が身に付きました外部講師を招いた講義ではライフプランを考えるきっかけとなった。</p> <p>3. グループワークが良かった。 例 はじめにグループが決められたことにより、初対面だった子とも不明点を確認しあいながら授業に臨むことができた。 自分ひとりだけでなく周りの意見を交えながらだったので自分の意見を周りにいう力がついた。 話を理解して、自分で考え、グループワークで伝えるという一連の流れができるようになった。</p> <p>4. 小テストで、学んだことを繰り返し復習したのが良かった。 例 小テストではいままでの問題も何回も答える形式だったので、自然と知識が蓄積されていったため持続して知識を覚えることが出来ている。 経済の覚える単語については、説明できるくらいに学べた。 GDPやインフレ、デフレ、など知ってはいたけれど意味は知らないものでも、毎回復習することで覚えることができた。 最初の頃は、一回小テストでやった範囲もすべてやらなければいけなくて、面倒だと思っていましたが、何回も繰り返しやってきたことで記憶が定着して、授業のスライドを見なくても、考えて答えられるようになりました。 経済用語も、簡単に説明できるくらいには覚えられました。</p> <p>5. 資料、説明、レスポンス、質問への対応が良かった。 例 先生の説明がとてもわかりやすく、質問にも丁寧に答えてくださったので、とても学びやすかったです。経営学をもっと勉強したいと感じました。 資料がとても見やすかった。 レスポンスの機能をうまく使いた聞いていただけの授業ではなかったところがよかった。 レスポンスを使って学んだ知識をすぐにアウトプットできる授業形式だったことが良かった点です。 講師の先生の説明もわかりやすく、小さな質問でも丁寧に掲示板で回答してくださったりと良かった。 生徒からの質問をmanabaで回答し、全員が見れるようにしていたことが良いと思った。</p>
経済発展論	角本 伸晃	<p>「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」のついて4.17でした。当該区分平均4.42よりも少し低い評価でした。 経済系の科目は評価が辛めにつくのですが、数式やグラフが理解しやすいように講義を心がけていきたいと思います。</p>
経済法	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。</p>
行動科学	松浦 常夫	<p>manabaを使っの授業でしたが、毎回、しっかりとした感想文を提出していました。</p>
国際NGO論	神山 静香	<p>社会的課題の解決を目的とした事業プランニングに全員が参加し、意欲的に取り組んでくれました。結果として、「授業を通じた成長を実感したか」との質問項目に対し、回答者全員が高い評価をつけていたため、大変嬉しく思いました。その他の評価項目においても、「とてもよくあてはまる」との高い評価をいただきありがとうございます。次年度も同様の評価となるよう、一人ひとりが意欲的に取り組み、学びを得ることのできるような授業内容にできるよう心掛けていきたいと思っています。</p>

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国際関係概論	神山 静香	多くの項目で「とてもよくあてはまる」との評価をいただきありがとうございます。授業を通じた成長や授業への満足度の点でも高い評価をいただき大変嬉しく思いました。次年度も授業を通じて成長したと感じていただけるよう心掛けて授業を実施したいと思えます。また、双方向での意見交換ができるよう工夫していきたいと思えます。
産業・組織心理学	松浦 常夫	manabaを使っの授業でしたが、熱心に取り組んだと思えます。
産業経済論	角本 伸晃	役職減コマから4年ぶりの担当復活でしたが、「11. この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか？」は5.00、13、14、16は4.67と高い評価となりました。しかし、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は4.00と低かったため、来年はより満足いく講義を心がけたいと思えます。
社会科学データ分析	竹内 光悦	おつかれさま。全体的な評価はあまり高くない点は残念ですが、今後の参考にします。そのためにどのような点が不足気味なのかをもう少し具体的に書いてもらえたらと思えます。
社会言語学	時田 朋子	社会でどのように言語が使用されているかを皆さんと一緒に考えるこの授業は、とても楽しい時間でした。私たちは言語を使用して生活をしています。今回の授業で学んだ視点を用いて、改めて社会を捉えてみてください。さらに大きな気づきを得ることができると思えます。
社会調査概論	竹内 光悦	お疲れさまでした。評価も悪くなく、良かったと思えます。本講義は調査系の最初になりますので、引き続き、学んでいきましょう。
社会調査実習 I	竹内 光悦	おおむねポジティブな評価であり、みなさんの頑張りも見えたのでよかったです。自由回答をみると、チーム編成やスケジュールに関するものもありましたが、これらは例年通りの内容として進めています。特にスケジュールに関しては最初に提示し、毎週確認していますが、どうも全体的に油断があったように感じていました。その意味では、後期はもっと口うるさく言わないといけないのでは？とも思っています。後期は油断せずに頑張りましょう。
女性と労働	山根 純佳	授業が時々理解できなかったとの回答が1件あったので、わかりやすい授業づくりを工夫したい
商法概論	神山 静香	全ての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございます。授業の満足度や授業を通じた成長の項目でも肯定的な評価をいただき大変嬉しく思いました。初めてこの分野を学ぶ方にも理解しやすいように図式や表等を提示したスライドを使用しましたが、どうしても分量が多くなりがちでした。板書とスライドの表示について時間配分を工夫し、履修者の皆さんが各自で復習用のノートを作ることができるよう心掛けたいと思えます。また、比較的履修者の多い科目ですが、双方向での意見交換ができるよう工夫していきたいと思えます。
消費者保護論	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思えます。
障害者・障害児心理学	佐藤 恵美	本講義を受講してくださり、ありがとうございます。皆さん、本当によく聞いていただけたと思えます。また、毎講義の課題も私自身考えさせられる感想や考えが多く記述してあり、勉強になりました。これから、この分野で携わることがあれば、ぜひ授業を思い出していただけたいと思えます。
情報セキュリティ	駒谷 真美	この講義の前半は、Society 5.0を生き抜くために、最新の情報セキュリティ・情報倫理の基礎を学修し、知識の定着に基づいたソーシャルメディアコミュニケーション（SMC）のスキルを促進している。本年度も情報セキュリティのスペシャリストから最新動向を教授してもらい、ゲーム式のワークショップに参加した。 後半は、PBLを行い情報に関わる課題解決のスキルを体得する。本年度はChatGPTに取り組んだ。まず何も知識のない状態でChatGPTを体験した第一印象、次に身近な話題や課題を入力しての無料版の試行、そして利便性と危険性の双方を学び、最後にChatGPTや他の生成AIを使用して成果物の制作に取り組んだ。各段階において、個人レベルではポートフォリオ、グループレベルでは毎回のフリートークを行い、経験を蓄積し最終発表した。Team1は複数の画像生成AIを駆使して大学公認ラジオ番組「渋谷のJJラジオ1」のインスタのアイコンをZ世代のニーズに則して考案した。Team2は、ボーイズグループの企画からキャラ設定・デビュー戦略まで分析した。Team3は、ガールズグループのコンセプト・キャラ設定をChatGPTで行い、イメージに沿った楽曲を作詞作曲AIで作った。どのグループも試行錯誤の連続の中で、AIとの付き合い方を自分事として深く考えていた。 その結果、授業アンケートでは、すべての項目が全体平均と当該区分平均を大きく上回った。特に成長実感度・勉強継続度・自己評価・満足度・意欲向上度においても、全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価を得たことは、まさしく履修生たちが得た達成感の表れであろう。情報セキュリティの中でもAIという最新かつ未知の領域にも果敢に最後まで取り組んでくれた履修生たちには、今後も自信を持って進んでいってほしいと強く望んでいる。

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
心理学概論	竹内 美香	<p>2023年度は全回対面型・「双方向性」の実施を確保できました。対面型の利点を改めて感謝していました。教室授業は時間厳守ですので、時間制限も講義担当者には大きな課題です。昨年度、「何かあった時」の備えとして授業回分の動画を全て制作していたので、今年度のmanabaでも、再度講義を見た人のために公開していました。活用して頂けたでしょうか。動画制作の作業をすることで、幅広く学ぶ入門科目としての「心理学概論」の内容を体系的に整理することもできました。</p> <p>心理学は大学で初めて開始される科目の一つです。「概論」ですのどとにかく、心理学の研究対象としての生物的・行動的事象を、どのように科学的整合性を求めてアプローチしているか、紹介することに努めています。現代科学では、論理的な仮説を立て、他者が追認できる形でデータを測定し、データの統計的解析により元々の問題の解答に還元し、検証を重ねます。「心理学概論」では、「情報処理機構(システム・系)としての人間(生活体)」について、近接する生物学や生理学、医学などの学問も含む多領域の情報も織り込みながら説明しているのです。</p> <p>毎回、授業で学んだことを2つ選択して書き込んで頂くワークシートを実施しました。14回すべての授業回で提出を課しました。大学では、とにかく自分で問題設定して、情報探索し、得られた複数の情報を総合して矛盾点を確認し、自らの考察を加えてまとめること、他者に教えられるほどに理解した上で発信するまでのスキルを獲得することを目指して頂いています。</p> <p>ネット上に、必要な情報は豊富にあり、皆さんにとってはそれが「当たり前」の環境になっているのかもしれませんが、便利ですが、怖いことでもあります。ひとたびネットワークから隔絶されたら、ネットワーク上の情報が信用できないものにすり替えられたら・・・。</p> <p>情報を扱うスキルとは、それらを含んで、それでも自己を見失うことなくサバイバルする能力であると思います。</p> <p>終盤に教室で説明しましたが、今はネット上の情報をコピー・ペーストしてワークシートを書いて満足している1年生も、後期からは「So what? How com??」などなど、次々自分で答えを探さなければならない疑問符と付き合い、格闘してください。</p> <p>AIが回答を生成する技術が台頭しているようです。大切なことは「AIは機械的に情報を集めているだけ!! わかったフリをしているだけ!!」なのです。ではニンゲンは何をしますか?</p> <p>皆さんひとりひとりの書く力が、ただ「コピ・ペ満足」に留まらないことを期待する年度となりました。</p> <p>情報はある。 さあ、それでは あなたはどうする? あなたの考えは? あなたは何を感じている?</p> <p>そこにこそ新しい価値はあるのです。 もっと 個々にちがう、いろいろな、面白いワークシートを書いてください。単に課題だから提出する・・・のではなく。</p> <p>お待ちしております。</p>
心理学研究法	松浦 常夫	例年になく出席率がよく、皆さん、熱心でした。
心理学実験 I	栗津 俊二	全項目(学生自身の自己採点除く)の平均値が4.5程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。
心理実習	松浦 常夫 栗津 俊二 竹内 美香	通年科目ですので、後期に改めてコメントします。前期はなかなか充実した内容だったでしょう。後期はどのような出逢いがあるでしょうか。ご期待ください。
人間社会学総論	広井 多鶴子 竹内 光悦 谷内 篤博 山根 純佳 駒谷 真美 高橋 美和 神山 静香 井上 綾野	<p>オンデマンドの授業であるため、学生の反応が分からず、授業を展開しており、今回ようやく全体的な満足度を把握することができた。オムニバスの授業の良し悪しができるため、全体的な評価は難しい。</p> <p>全体としては標準的な満足度であり、書き込みには「幅広い分野を学べた」「分かりやすかった」といったコメントが載っていました。ただ、「授業のレジュメが欲しかった」という意見があったので、今後検討したいと思います。</p>
人材開発論	谷内 篤博	全体的には授業に対する満足度は高かったようであるが、板書はかなり評価が悪く、大いに反省したい。専門的、難しい授業であるが、ディスカッションやグループワークを多く取り入れたことが功を奏したようである。
人的資源管理	谷内 篤博	かなり難しく、レベルの高い授業であると思うが、学生の皆さんの一定の高い満足度は得られたようで安堵している。例年より、かなり授業スピードを落としたことがよかったようである。学生の皆さんの真摯な授業態度に敬意を払いたいと思う。
知覚・認知心理学	間野 陽子	知覚・認知心理学では、人の感覚・知覚、認知、記憶、理解、思考等の仕組みと障害について学びました。これらの認知機能は、日常生活において、必要不可欠なものばかりです。授業で学んだ内容は、みなさん身近な事柄として捉えることができました。知覚・認知心理学での学びは、日常生活において、自分自身の思考や行動についての理解を深め、さらに自己と他者との違いを理解することに役立ちます。みなさんが学んだ知識を、自分自身について見つめなおしたり、問題が生じたときの解決方法や意思決定の仕方、社会の中での多様性を理解することに役立てていただければ幸いです。

【2023（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
地域社会学	原田 謙	スピード、説明のわかりやすさ、聞き取りやすさは、4.6点を超えており、比較的高評価だったようです。皆さんのresponの回答も、授業進行上とても参考になりました。
調査・実験データ処理法	竹内 光悦	評価はぼちぼちでしたが、好意的な意見もあり、その点はほっとしました。ここ数年、オンデマンドで実施していますが、対面とオンデマンドを比較しても理解度はオンデマンドのほうが習熟度も高いと感じます。オンデマンドでのこの講義をさらに向上していきたいと思います。
発達心理学	竹内 美香	本科目は全編オンデマンド(講義動画配信)型で実施しました。オンデマンド型授業は、間で教員・学生間の対話的調整ができないので、不安もあります。一方で対面型の講義ではできない各論の詳細・精緻化を実現する利点があると感じています。受講した皆様はいかがでしたでしょうか。「発達」は生涯を通じて起こる人生移行です。発達心理学は、お母さんの胎内に宿る原初の胎児の生命活動から、生まれて、社会的関係性の中で身体の生理的機能に基づき認知的システムが構築され、高度な認知機能や社会的スキルを獲得するまでを辿ります。中でも赤ちゃん時代とお母さんをはじめとする養育者との相互作用は、「発達心理学」の中では扱うべきトピックですが、老年まで扱うと時間が不足するほどです。例年この科目は「赤ちゃん」のまま成長しないまま最終してしまうほどでした。オンデマンド型授業では構成を見直し、発達時期の扱いも幅広くバランスよく配置しなおすことができましたと思っています。週1回、新しい単元の動画を配信し、学ぶ皆さんからワークシートを都度、提出して頂きました。授業は14回。履修学生の皆さんそれぞれに「自己管理」と「自律的な努力」が求められたことと思います。発達心理学の概要をご紹介した14回でしたが、心理学は豊富な対象領域と方法論、そして先行研究史を持っています。さらにさらに学んでください。
福祉心理学	間野 陽子	福祉心理学では、家庭、障害、高齢者などをはじめとする福祉分野の心理社会的諸問題の歴史、現況、支援制度について広く学びました。どれも身近に存在する問題として、みなさん大変親身になって考えることができました。福祉心理学での学びは、福祉を必要としている人への対応の仕方や、自分自身が福祉を必要とする場面に遭遇した時などに、自分なりの考えを持って、行動に移すことに役立ちます。仕事やプライベートにおいて、みなさんが学んだ知識を活用されることを楽しみにしています。
文化人類学	高橋 美和	数値的にはほぼ平均的でした。異文化理解について/文化人類学という学問分野について理解が深まったという感想が多かったこと、喜ばしく思います。一方、自己成績評価がやや低い方が多かったことから、授業内テストで十分に得点できなかった感覚があったのだらうと推察されます。最終授業で重要点のまとめの時間を設けるなど、工夫が必要だと感じました。
簿記論 I	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.38に対して、この科目は4.65と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。
法律学	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
民法概論	数野 昌三	「民法概論」では、民法の歴史・基本原則とその修正、債務不履行、売買契約、消費貸借契約、質貸借契約などについてポイントを絞り授業を実施しました。アンケート調査では、①自分の主観で判断するのではなく、法律に沿った人権を尊重できるような判断をする力がついた、②具体例が多くわかりやすく説明して下さったため、理解しやすかった、③質問に関して授業内で詳しく説明して下さい、とても良かったなどの意見を頂きました。受講生の皆さんの意欲的な眼差しが印象的でした。民法についてさらに学びを継続して下さい。
流通サービス論	井上 綾野	マーケティング系の学びを深めたいと評価して下さった方が多く良かったです。是非、後期も消費者心理学等マーケティング系の科目を受けてください。